

企業大学訪問をして

私は企業大学訪問で天野篤教授を訪ね、話を伺った。

その中で、印象に残っている言葉が二つある。

「天皇陛下の手術という大きなプレッシャーの中でも落ち着いて普段通りの手術ができたのは「たくさん手術の経験をしたこと」という答えだった。たくさん手術を経験することで自分の技術に自信が持てるようになり、どんな状況でも落ちついて手術をすることができる。またその経験の裏付けがあるから「いい意味で開き直すこともできる。」

私は、私にはこのような「やるしかない」という思い切りの気持ちが必要だと思ふ。私はどこかミスをしていないか不安なので、いつもしつこく確認をする。勉強でもただならぬと同じことをしてしまい、時間を無駄にしてしまうことが多い。

どうして自分で腹を括るといふことができないのか。

腹を括るとは時にはたしかに必要なことだ。他の人と比べることよりも自分は自分と割り切ることが大事だ。

そのためには事前に準備をしっかりとす。そして全力を尽くす。そのあとの結果は天に任せる。ただならぬ時間をかけて続けることが一番良いことではないといふことなのだろう。

二つ目は、「恐怖の乗り越え方」だ。これに対する天野教授の返答は、「抑えを持っていること」だった。行き当たりばったりではなく、どんな事態も想定し、二の矢を持っておくことで安心できるのだそう。行き当たりばったりで物事をすすめると、不測の事態が起きた時に対応することが難しく、結果的に失敗してしまうのだそう。天野教授は手術をしながら別の形でも状況対応を想像しながら行っているといふ。

私はこのことを聞いて、先のことを予測して動くことができるから、失敗する確率が低くなるのではと思ふ。あらかじめ不測の事態を予測して動くことで、それに必要な準備をしっかりとすることができるからだ。今私たちは高校に入学して約半年が経過した。学校になれることで精いっぱい少し先のことを考えている人はあまり多くないのではないかと思ふ。

私も毎日の授業の予習や部活で手いっぱい先のことを考える機会は少なかった。将来のことを考えるならば、勉強をもっと頑張らなくてはならないのに、ただならぬと過ごしてしまうことが多かった。貴重な時間を無為に過ごしてしまうことを避けるためには紙に目標を書いて見えるようにしておくといふことが少なくなる。

今回の東大見学会で目標を明確にし、コツコツ努力をすることの大切さを改めて強く考えさせられたと思ふ。また、毎日の授業も大切だと思ふ。二高の授業は毎日の授業のレベルが高く、授業をちゃんと受けることも大学受験の準備につながると思ふ。しっかりと集中して授業を受けていきたい。今特に数学と英語の基礎を固めたいと思ふ。できるだけ毎日この二つの教科は勉強するようにして今のうちから実力を養っていきたい。しかし、あまり一つのことに時間を取りすぎないようにしようと思ふ。無理に勉強し続けると集中力が落ちる。こういうときは思い切って休み、別の教科をやることも必要だと思ふ。過度に不安になり、勉強するよりも、少し余裕をもって勉強していきたいと思ふ。しかしむやみやたらに勉強をしても成績には結びつかず、無駄な時間を過ごすだけなのでしっかりと計画を立て、効率的な勉強をしていきたい。

ディレクトフォースで学んだこと

今回の東大見学会企業大学訪問の初日にディレクトフォースで新日鐵住金の二高の卒業生の方の話を伺った。

その話を聞いて、みなさんこの仕事に一生懸命打ち込んでいると思ふ。その理由は仕事の説明を聞いて、多くの仕事を同時にこなしていることが分かったからである。仕事だからやりたくなくてもやっている人のこなす仕事の量ではなく、毎日必死に仕事をしている人々だけがこなすことのできる仕事の量であると思ふ。また、仕事の質も高く、法務部の人は労働組合への対応や法廷トラブルの仕事以外にも、プロジェクトの最適な計画などの仕事も漏らすことなくこなしており、それで何の問題もなく仕事が回っていることに感銘を受けた。仕事の面白さはだれにも分からず、常に最適解を追求する精神は見習うべきものだと思ふ。その最適解を追求し続ける精神によって、いろいろなトラブルを乗り越えて新日鐵住金を世界規模の会社に育て上げることができたのだと思ふ。お客様のニーズに答え続ける会社の強さにはこの部分が深くかかわっていると思ふ。

またこの会社は目標に向かって計画を立てる力が非常に大きいと思ふ。営業、法務、広報が計画のためのそれぞれの役割に応じた仕事をしている。各部分で仕事をしっかりとすからこそ、世界でも有数の生産力を発揮することができるのだと思ふ。計画をしっかりと立て、行動することができる会社は強いと思ふ。私も早い段階から計画を立てて、勉強を始めていた時のテストの成績は良かった。計画を立てて前のうちから準備をしておくといふ、何らかの計算違いがあっても余裕をもって対応することができ、進めていく内容もより良いものにすることができると思ふ。頑張れば絶対成功するとは限らないが、意外と道は開けるとディレクトフォースでも伺った。頑張らなければ、道は開けず、後悔しか残らない。後悔しないためにも今のうちからできる勉強を頑張っていきたい。また二高の教育方針である「文武一道」にのっとり、部活も頑張りたい。しかし、高校に入ってから、四か月経

った今、部活と勉強の両立ができていない。空いている隙間の時間も利用して、勉強を進めていきたい。

今頑張ったことは、将来社会人になった時に自らの力になってくれると思う。これ以上は絶対にできない程真剣に打ち込めば、その期間の記憶は自分を支えてくれるものになると思う。たとえ他の人とやっていることが違い、不安になっても自分を信じれば、余裕が生まれる。しっかり自分の意思表示をし、自主性を持つことが必要であると思う。

私は今、周りに遠慮してしまい、自分の意見を主張することができないことがある。そのため2周囲の意見に流されてしまい、自分がつらい立場になってしまうことがあった。これからは自分の意見や考えを周りに伝えていきたい。だが、周りに意見を主張しすぎると周りに不快な思いをさせてしまう。仲間を大切にしなければならないと思う。周りのことを配慮しつつも自分の意見を主張していきたい。

多くの人が周りの人を考慮しつつも意見を出し合っていけば、一人一人の意見が良くなり、結果的に全体の意見が良くなると思う。

一人ひとりがしっかり考え、意見し行動していけば、自分も、周りももっと成長していけるのではないかと思う。私は今、あまり自分の意思というものを持っていないので、どんなことに関しても必ず自分の意思を持つようにしようと思う。

今回の東大見学会企業大学訪問でこのような事を学ぶことができ、今回参加してよかったと思う。